

長期目標 (期間:12か月)	お気に入りのバッグやハンカチでコーディネートをして、穏やかな気持ちでデイサービスに通うことができる。				
課題	短期目標		具体的な援助内容・方法		頻度
	目標	期間	内容	方法	
不安なことや理解できないことがあると、イライラしてしまうことがあります。穏やかな言葉がけや支援をしてもらい安心したいです。	穏やかな気持ちで、安心して過ごすことができる。	R5/ 7/1 ～ R5/9/30	ヘルパーということが分かるように工夫します。	“お手伝いをしてくれる人”ということが一目でわかるように、統一したエプロンを着用します。	訪問時
			安心感と信頼感がもてるように接します。	福士さんとよく目が合うように、正面からゆっくり話かけ、穏やかな言葉・口調を選び、わかりやすい表情で接します。また、手に触れる際には、下から支えるように触れます。不快な思いをされた時は触れないようにします。	訪問時 会話時
			外に出ることが楽しみになるような会話をします。	興味のある季節の草花の会話をとおして、外に出ることのイメージが持てるようにします。	訪問時 会話時
			無理のない範囲でデイサービスの送り出しの準備をします。	福士さんの気分で朝の準備が大変な場合は無理をせず、デイサービスに到着してから身だしなみ等を整えるようにケアマネジャーを通じて情報共有をしてもらい、福士さんが穏やかに出発できるように支援をします。	担当者会議時
			デイサービスからのお便りを一緒に拝見します。	デイサービスからのお便りを一緒に拝見し、福士さんが笑顔で活動されている様子の写真等を話題に出し、デイサービスに行くことが楽しみになるような環境づくりをします。	介助時 会話時
			その日の体調や気分に応じた関わり方をします。	福士さんの顔色や表情を確認しながらご本人のペースで介助ができるように配慮をします。	
			デイサービスに行くことが楽しみになるような言葉がけをします。	持ち物や服装、お好きな「木綿のハンカチーフ」の歌などを話題にして、穏やかな気持ちで出発できるように支援をします。	介助時 会話時
			意欲を引き出す言葉がけをします。	福士さんに協力をして頂けた際は、表情も交えて嬉しい気持ちを伝え、意欲が向上するような支援をします。	
			デイサービスに持っていくものはご自分で選んでいただくようにします。	デイサービスに持っていくバッグや花柄のハンカチは、福士さんに選んでバッグに入れてもらえるように支援をします。	準備時
			納得してデイサービスに行っていたため、焦らすことのないように支援をします。	嫌がる様子がみられた際には、一度椅子に座ってお話をうかがったり、興奮が強い場合は、安全確認を行った上でいったんその場を離れます。必要に応じて、デイサービスのお迎えの時間をずらしてもらおうケアマネジャーの静岡さんを通してお願いします。	嫌がる様子がみられた時
			事前に介助時の留意点を把握します。	事前にケアマネジャーより主治医(介護先生)からの介助時の留意点等について情報提供をもらい、健康状態や力の入り具合に応じた介助ができるように支援をします。	状態変化時
援助手順書を確認し、支援方法を把握します。	事前に援助手順書に沿って支援ができるように福士さんの状態を把握し、スムーズな支援に繋がられるようにします。	訪問前 情報更新時			
膝や肩に痛みがあり動くのが大変ですが、できる限り自分で体を動かすようにして、夫の負担も減らしてあげたいです。	安定した体調で、健康に過ごすことができる。	R5/ 7/1 ～ R5/9/30	訪問時に健康状態の確認をします。	訪問時にご主人から健康状態や昨夜の睡眠状況等を確認し、その日の体調に応じた支援をします。またご主人の疲労にも配慮をします。	訪問時
			何か行方際には体調の確認をします。	介助時は、福士さんの体の痛みなどの体調や気分に応じた言葉がけを行います。	介助時 動作時
			デイサービスの職員へ訪問時の様子や健康状態を引き継ぎます。	お迎えのデイサービスの職員さんに体調や準備時の様子を引継ぎ、デイサービスに到着してからも安心して過ごせるように支援をします。	デイサービスお迎え時
			清潔を保持できるように支援をします。	デイサービス出発前にトイレの確認をします。またトイレの希望があった際は、福士さんにお尋ねし、トイレまで一緒に付き添いお手伝いします。	排泄の状況に応じて
	身体をぶつけて怪我をしたり、移動時に転ばないように慎重に動くことができます。	R5/ 7/1 ～ R5/9/30	自宅内や周囲の安全確認をします。	歩行の邪魔となる物が無いか、事前に確認をします。必要に応じて、福士さんやご主人がご自身で安全な環境を作るためにアドバイスをします。	移動時 動作時
			ご自分のペースで移動をして頂きます。	短距離を移動する際は手引き歩行は避け、右肩の動きや歩行バランスをよく観察しながら福士さんの左斜め後ろから付き添い、言葉がけの誘導をしながらご本人のペースで移動をして頂きます。	
			デイサービスに持参する車いすの安全確認をします。	長い距離は車いすを使用するため、事前に車いすのガタつきの有無、タイヤの空気圧、ブレーキの効き具合などを確認します。	車椅子使用時
	車いすで移動中の怪我を防止します。	車いすで移動する際は、手や足が車いすの内側に収まっていることを確認し、事故防止に努めます。			
	自分で動かせるところは、動かすようにして体力や筋力を維持できる。	R5/ 7/1 ～ R5/9/30	ご本人が納得された上で介助をします。	福士さんにこれから何をするのか分かりやすく手順を説明し、納得して頂いた上で介助をはじめようように配慮をします。	介助時
			できることはご自分で行っていただくようお手伝いします。	右肩の動きの状況を確認しながら、着替えや身だしなみを整えるところは、福士さんに行って頂き、外出前に再度一緒に身だしなみの確認をします。	外出の準備時
ご自分で車いすに座って頂きます。			車いすを利用する際は、車いすに座る手順を説明し、見守りのもとご自身で座っていただきます。	車椅子使用時	